

突然の停電で給水がストップすると、トイレは使えなくなります。ましてや大地震時に停電・断水になったら、数日間トイレが使えなくなります。この時管理組合は何が出来るのかを考えると、現状何もありません。「自助」として「携帯トイレ」を備蓄していただくことになります。

「防災トイレ」などで検索すると色々な情報が得られますが、一つ参考になるHPを紹介しませうのご覧になってください。NHKで放送した内容なので無難なものです。※ 見れない方は 相子 まで連絡を

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/basic-knowledge/basic-knowledge_20220419_01.html

携帯トイレはHPにも防災雑誌にも取り上げられていますし、どれが良いかランキングも出ていますが、選択する時は複数の情報を見比べてください。<ヨイショ記事もあります>

◆ 停電・断水時の「トイレ」

先日落雷による停電が有りましたが、幸いすぐ復旧しました。この様な事故による停電は比較的短時間で復旧しますが、その間に使用したいときは使用後水を流しましょう。水は風呂の残り水で大丈夫ですので、バケツで汲んで勢いよく流します。無ければ勿体ないですが飲み水を使います。

◆ 大地震時の「トイレ」

大地震が発生すると地域一帯が停電・断水になることが当然あります。その時数日間以上は覚悟しなければなりません、トイレは待ったなしです。健康のためにも最低限の回数は必要です。

現状は「自助」として「携帯トイレ」を備蓄していただくことになります。

「排水管の破損」

紹介したHPにあるものですが、マンションにおける「準備」項目が有ります。

最初の項目は、大地震の時排水管が破損する可能性があり、破損していたら排水出来ない＝トイレは使えませんということです。

とはいえ、水は確保できたので早く使いたい時はどうするか？ 二番目の

項目は平時の場合で大災害時は無理です。となると、管理組合で「点検・調査」して決断しないと、使えるかもしれないのに使えないことになります。戸建てについては熊本地震後の排水点検資料を見つけましたが、マンションは条件がバラバラなのでありません。

排水管清掃業者が使用するファイバースコープがあれば調べられますが高額なので無理となると、部分部分で水を流して下流の覗けるところで流れてくるかを、全排水管径路について確認しなければなりません。

排水管は、トイレやガス台横の壁の中、床下、地中にあるので、どこで覗けるか、どこで流せばいいのか、予め調べておかないといけないので今後の課題です。

